

ビタミンBook

発行: 笠田高等学校図書館



2024.10

10号



10 月も半ばを過ぎ、やっとキンモクセイの香りが漂い始めました。今年は本当に遅い秋の訪れです。

さて、二学期から昼休みに図書館内で音楽を流しています。1 週間ごとに、流す音楽を変えています。耳にしたことがある音楽かもしれません。ぜひ聞きにきて下さい。

みんなで誘い合わせてぜひ参加してください。



「おもちゃかぼちゃでランタン作り」の案内

日時 10月25日(金) 放課後

場所 笠田高校 図書館

各自で準備するもの

彫刻刀・大 小スプーン・かぼちゃを持って帰る袋



秋と言えば・・・シリーズ第2弾
(食欲の秋バージョン)



★☆今号はお腹がいっぱいになる本を紹介します。☆☆

『3 時のおやつ』

平松洋子 大島真寿美他 (著)
おやつにまつわる思い出が綴られたエッセイ。【914】

『植物図鑑』

有川浩 (著)

「行き倒れています。よかったら拾ってくださいませんか」の言葉から始まったルームシェア生活。同居人となったイツキは、道端や河原に咲いている植物でご飯を作ってくれるのです。

【913.6】

『柿ライフ』

農文協 (編)

和歌山は柿の生産量が日本一です。私たちになじみ深い柿を食べるだけでなく、余すことなく使えるノウハウが紹介されています。【628】

『美味礼賛』

ブリア・サヴァラン (著) / 玉村豊男 (編訳)

フランス革命前後の激動の時代を生き抜いた法律家ブリア・サヴァランは 1825 年匿名で『美味礼賛』を刊行しました。【596】

マラン・カランシリーズ

- 1 『二十三時の夜食カフェ』
- 2 『女王さまの夜食カフェ』
- 3 『気まぐれな夜食カフェ』
- 4 『さよなら夜食カフェ』

古内一絵 (著)

夜だけ開店する不思議なカフェ。そこで出される料理だけでなく登場人物にも癒やされます。

【913.6】



図書館では、毎年、読書週間（10月27日から11月9日）の行事として、「ハロウィンおもちゃかぼちゃでランタン作り」を行っています。毎年人気のある図書館行事です。かぼちゃの数に限りがあります。参加したい生徒は、図書館カウンターまで、予約にきて下さい。

♪♪新しい本がいっぱい♪♪



	書 店	著 者 名	出 版 社	分類番号
1	世界史リテラシー アメリカは、いかに創られたか	和田光弘	NHK 出版	253.04
2	イスラエルとパレスチナ 岩波ブックレット 1099	ヤグ・ラギン	岩波書店	319.279
3	なぜ、子どもはあのような絵を描くのか	小泉卓	幻冬舎	371.45
4	マンガ防災図鑑	草野かおる	飛鳥新社	369.3
5	ナチスに抗った教育者 岩波ブックレット 1098	對馬達雄	岩波書店	372.34
6	熱帯の感染症	大山健康財団	大山健康財団	491.9
7	水曜日はおうちカレー	長谷川あかり	大和書房	596.3
8	漫画 キングダム 73	原泰久	集英社	726.1
9	漫画 呪術廻戦②⑧	芥見下々	集英社	726.1
10	漫画 ルックバック	藤本タツキ	集英社	726.1
11	漫画 WIND BREAKER⑱ ⑲	にいさとる	講談社	726.1
12	集中講義 平家物語	安田登	NHK 出版	913.434
13	集中講義 太平記	安田登	NHK 出版	913.435



【新 書】

	書 名	著 者 名	分類番号
1	わたしの、本のある日々（岩波新書）	小林聡美	019.9
2	記憶の深層―〈ひらめき〉はどこから来るのか（岩波新書）	高橋雅延	141.34
3	朝鮮民衆の社会史―現代韓国の源流を探る（岩波新書）	趙景達	221.05
4	検証 政治とカネ（岩波新書）	上脇博之	315.1
5	表現の自由「政治的中立性」を問う（岩波新書）	市川正人	316.1
6	戦争ミュージアム―記憶の回路をつなぐ（岩波新書）	梯久美子	319.8
7	サステナビリティの経済哲学（岩波新書）	松島 齊	331
8	環境とビジネス―世界で進む「環境経営」を知ろう（岩波新書）	白井さゆり	336
9	あいまいさに耐える―ネガティブ・リテラシーのすすめ（岩波新書）	佐藤卓己	361.453
10	介護格差（岩波新書）	結城康博	369.26
11	新自由主義と教育改革―大阪から問う（岩波新書）	高田一宏	372.163
12	野生動物は「やさしさ」だけで守れるか？（岩波ジュニア新書）	朝日新聞取材チーム	480.9
13	〈弱いロボット〉から考える（岩波ジュニア新書）	岡田美智男	548.3

『書いてはいけない～日本経済墜落の真相』

森永卓郎（著）

森永氏は、この著書で「メディアが触れてはいけない3つタブー」について書いています。読んでいるうちにだんだんと苦しくなってきます。なぜなら、記憶に新しい出来事や決して忘れることができない出来事が書かれているからです。読みやすいのでおすすめします。

【304】

秋の夜長ちょこっとページを
めくってみて。



